

訪問看護活用マニュアル～ケアマネジャー編～ 発刊によせて

神奈川県訪問看護ステーション連絡協議会では、「私たちの訪問看護ステーションマニュアル 2006」に続き、「訪問看護指示書マニュアル 2007」を発刊しました。これは訪問看護ステーションの管理者はもとより、主治医やケアマネジャー、関連職種の方々に訪問看護についてご理解をいただき、より良い連携がとれる手がかりとなることを祈念して作成したものです。発刊後1年余りが過ぎましたが、協議会の研修のほか、地域の連絡会や研修でも活用され好評をいただいております。

訪問看護活動を行っていく上で、主治医はもとより関係職種の方々との連携は必要不可欠なものです。特にケアマネジャーとの連携は重要ですが、訪問看護ステーションの管理者を対象に実施したアンケートでは、“ケアマネジャーとうまく連携がとれている”と感じている管理者は少数で、ほとんどの管理者が連携についての悩みを抱えていることがわかりました。

そこで、今年度は「訪問看護指示書マニュアル 2007」をケアマネジャー向けにアレンジし、ケアマネジャーと訪問看護師が理解を深め、より良い連携がとれることを目標に「訪問看護活用マニュアル～ケアマネジャー編～」を作成しました。訪問看護のしくみ、利用する上でのポイントや留意点に加え、事例紹介や連携上のポイントをQ&Aにまとめる等、より具体的な内容になっています。また、医療保険や介護保険制度の改定でますますわかりにくくなっている利用料や加算、保険による対象者の違いなどの資料も充実させました。

ケアマネジャーはもちろんのこと訪問看護ステーションの管理者、スタッフもこの冊子を活用し、それぞれが訪問看護に対する理解を深め、より良い連携がはかれ、チームが一丸となって利用者の生活を支えていければと思います。

神奈川県訪問看護ステーション連絡協議会
質の向上委員会 委員長